

## 二宮町ごみ減量化推進協議会 会議次第

日 時 平成24年10月24日（水）

午前10時00分より

場 所 二宮町役場 2階 公室

### 1. 開 会

### 2. 議 題

(1) ごみ減量化施策について

(2) 生ごみ等の循環方法について

(3) その他

### 3. 閉 会

## 減量施策（リデュース・リユースの促進）

### 議題1

#### 1. 先行事例

多摩市

○「生ごみ入れません！袋」

生ごみを自家処理し、生ごみを燃やせるごみに入れない市民専用袋

配布対象

1.生ごみ処理機で自家処理している市民

2.生ごみを直接、土に埋める等、堆肥化している市民

使用者登録

登録制で、宣誓書に住所、氏名、連絡先、実践中の生ごみリサイクル方法を記入し、提出すること

○リユース食器の貸出

イベントやお祭りで使うための、カップ、お皿、塗り箸、ランチ盆等を無料で貸出し、洗って使って洗って返す。

#### ★2R リデュース・リユースの促進

①食材の計画的な購入

②エコクッキング

③生ごみ処理機の活用

④生ごみの水切りの徹底

①～④については、平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画においてごみ減量化推進協議会などを通じて普及啓発することとなっています。

③、④については、生ごみ処理機の補助、水切りネットの配布を行っております。さらに推進するための方策について

## 生ごみ等の循環方法について（地産地消に向けて）

### 議題2

平成24年8月8日（水）の会議より

- ①コンポストを使って出来た堆肥を、庭に繰り返し埋めているが、出来た堆肥を埋める場所がいつか限度が来るのではないか？
- ②剪定枝、草、落ち葉を分別し、堆肥化しているが、地産地消につながっていない。

### 1. 先行事例

#### ○札幌市

「生ごみ堆肥化地域循環モデル事業」

- ①地域住民の方が生ごみ堆肥化セミナー受講後、家庭で生ごみ堆肥化に取り組む。
- ②生ごみ堆肥の使い道がない方、生ごみ堆肥の提供が可能な方は、できた堆肥を回収拠点へ持ち込む
- ③持ち込まれた堆肥を札幌市が熟成させ、肥料として使える状態にする。
- ④熟成後の堆肥を地域の花壇等で活用する。

#### 二宮町で行う場合の課題

- ①堆肥化セミナーを行う講師
- ②堆肥の熟成場所

#### ○名古屋市

「生ごみ 循環の環づくり支援制度」

- ①参加世帯が10世帯以上で、地域生ごみ処理機を設置し、地域団体が運用する。（事業協力金 5,000円/年）
- ②市の委託業者が引き取りに行く。
- ③市が堆肥化し、地域団体に優先的に引渡しする予定
- ④生ごみ由来の堆肥を使って育った野菜、草花などの朝市の開催1回につき3,000円（月1回まで）の協力謝礼金を支給する。

#### 二宮町で行う場合の課題

- ①生ごみ処理機を設置している団体、地域は今のところ存在しない。
- ②堆肥の熟成場所

## ○仙台市

### 「生ごみリサイクル」

各家庭の電気式生ごみ処理機で処理された乾燥生ごみを野菜やごみ減量・リサイクルグッズと交換する制度。

野菜と交換する場合は、乾燥生ごみ1kgにつき100円相当の新鮮野菜（5個）までと交換でき、リサイクルグッズと交換する場合は、乾燥生ごみ1kgにつきスタンプ1個がスタンプカードに押され、スタンプの数に応じて各種グッズと交換できる。

以前から乾燥生ごみと野菜の交換を行っていたNPO法人「朝市・夕市ネットワーク」の協力を得て、平成16年6月から開始している。

### 二宮町で行う場合の課題

今のところ、そのような事業を行っている法人、団体が存在しない。

## ○長野県高山村（二宮町と地域間交流を行っている）

### 「環境保全型農業の推進」

- ・各家庭から生ごみ専用袋（紙袋）に入れて週2回排出される。
- ・昭和57年に堆肥化する施設「地力増進施設」を建設し、そこに一般家庭から出る生ごみを集め、そこに酪農農家の牛糞、きのこ農家の廃おが粉などを混合し堆肥化する。堆肥化までに約3ヶ月かかる。
- ・できた堆肥はJAを通じて農家に販売されている。
- ・利用形態は、高山村の主力農産物がりんご、ぶどう等の果樹に利用されている。
- ・出来た堆肥は年間400トン前後で需要が多く、追加注文を断っているのが現状であり、村内の方のみ購入できる状況

## 2. 「堆肥化コスト」と「堆肥の流通先」の問題

入口＝堆肥化するためのコスト

出口＝生成した堆肥の流通先、その堆肥からできた農作物の流通

入口論と出口論が合理化できれば、地産地消が成立する。

行政だけでの事業開始は、困難であり、NPO法人または、地域、団体、事業者との連携は必須である。

### 3. 剪定枝堆肥の還元

二宮町の剪定枝・草・落ち葉は、開成町で堆肥化処理を行っている。

剪定枝堆肥は、交渉しだいで無償で処理先から入手できる可能が高い。

#### 課題

- ①配布場所
- ②運搬方法
- ③配布期間

## 水切りネットの効果

年度	水切りネット			費用対効果					
	配布パック数(パック)	配布方法	水切りネット費用	年間厨芥類推計量(t)	厨芥類水分率(%)	水分削減率(%)	削減量(推計)(t)	削減費用(推計)(円)	費用対効果(円)
						各年度水分率-H20水分率 B × D			
H20	-	-	-	2,565.84	77.90	基準	基準	基準	基準
H21	28,400 (30枚入り)	11月と3月に全戸配布	6,759,480	1,971.25	75.40	-2.50	-49.3	-1,873,400	4,886,080
H22	50,000 (10枚入り)	指定ごみ袋1ロールに1パック配布	4,567,498	1,451.18	73.30	-4.60	-66.8	-2,538,400	2,029,098
H23	42,000 (10枚入り)	指定ごみ袋1ロールに1パック配布	3,836,700	2,261.66	68.10	-9.80	-221.6	-8,420,800	-4,584,100

### 削減費用の推計方法

- ①B欄の年間厨芥類推計量は、ごみ分析によるごみの割合から算出
- ②C欄はごみ分析による厨芥類の水分率
- ③D欄は、水切りネット事業開始前の平成20年度に行ったごみ分析の厨芥類水分率が77.9%を基準とした各年度の削減率
- ④F欄の1t当たりのごみ処理費用は、平成23年度の可燃ごみ処理費用1億9千5百万円 ÷ 可燃ごみ処理量5,187トン = 37,593円 ≈ 38,000円/1トンの処理費用で算出

参考:可燃ごみ全体の三成分

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
水分	58.5	52.4	49.9	49.3
灰分	3.9	7.3	5.2	5.5
可燃分	37.6	40.3	44.9	45.1

表VII-2 ごみ質の分析結果一覧表

市町村 一部事務組合名	構成市町村名	施設名	測定方法 乾 湿	ごみの三成分(%)		
				水分	可燃物	灰分
横浜市		保土ヶ谷工場		0	0	0
		都筑工場	○	45	48	7
		鶴見工場	○	45	50	5
		旭工場	○	46	49	5
		金沢工場	○	52	43	6
川崎市		橘処理センター	○	37	57	6
		堤根処理センター	○	36	59	5
		王禅寺処理センター	○	37	57	6
		浮島処理センター	○	39	54	7
相模原市		南清掃工場	○	51	42	7
		北清掃工場	○	42	48	10
		津久井クリーンセンター ごみ焼却発電施設		0	0	0
横須賀市		南処理工場	○	52	41	7
平塚市		環境事業センター	○	54	39	7
鎌倉市		今泉クリーンセンター	○	50	46	4
		名越クリーンセンター	○	50	45	5
藤沢市		北部環境事業所	○	46	47	8
		石名坂環境事業所	○	50	46	4
小田原市		清掃工場	○	47	46	7
		清掃工場	○	47	46	7
茅ヶ崎市		環境事業センター	○	52	42	6
逗子市		清掃センター じん芥処理場	○	59	36	5
厚木市		環境センター	○	51	42	7
大和市		環境管理センター	○	49	47	4
南足柄市		清掃工場	○	54	42	3
葉山町		クリーンセンター	○	47	49	4
大磯町		環境美化センター	○	52	41	7
箱根町		環境センター 清掃第1プラント	○	53	7	39
愛川町		美化プラント	○	48	45	7
清川村		清川クリーンセンター		0	0	0
秦野市伊勢原市 環境衛生組合	秦野市、伊勢原市	伊勢原清掃工場 180t/日焼却施設	○	49	46	5
		伊勢原清掃工場 90t/日焼却施設	○	49	46	5
高座清掃施設組合	海老名市、座間市、綾瀬市	ごみ処理施設	○	53	42	5
湯河原町真鶴町衛生組合	真鶴町、湯河原町	ごみ処理施設	○	53	42	5
足柄東部清掃組合	中井町、大井町、松田町	大井美化センター	○	45	47	9
足柄西部清掃組合	山北町、開成町	足柄西部環境センター	○	48	48	4